平成28年度地域中核企業創出・支援事業（地域中核企業創出支援ネットワーク形成事業）

ものづくり支援研究会

全2回開催

主催者：名古屋工業大学　　協力：名城大学

第1回　LEDの今と明日のLED

現在、あらゆる照明、電光表示がLEDとなっています。当初、LED照明の謳い文句は長寿命化であったが、今や低価格競争となっており、品質に影響を与える事態になっています。

そこで、LEDの今を一度振り返り、現状を知り、品質確保に目を向けるとともに、今後ますます普及するであろうLEDのその後、明日のLEDの姿を探求したい思いから、今回研究会を全2回、開催することと致しました。

この研究会では、中小企業の方々へ今からのLED事業への参入、今後LEDがもたらす新規商品の創造の場を提供したいと考えています。多くの興味ある企業の方々のご参加をお待ちしています。

テーマ：「LEDの今と明日のLED」

・開催日時：平成28年12月22日（木）
13:30～15:50
・開催場所：名古屋工業大学　4号館　1階ホール
名古屋市昭和区御器所町字木市29番
・定員　　：200名（先着順）
・参加費：無料（第1回及び第2回いずれも）

〔プログラム〕□

13:30～13:35　主催者挨拶　　名古屋工業大学 産学官連携センター 矢野 卓真 准教授

13:35～14:35　「光を操るLED照明のツボ」
特定非営利活動法人LED照明推進協議会　JLEDS技術委員　　佐野　武志　氏

近年、身の回りにも広く普及してきたLED照明。高効率で長寿命と言われるが、使い方によっては必ずしもその特長を生かしきれない場合がある。
本講では初心者を対象に、性能の現状、LEDチップをはじめとする各構成部材とそれらを組合せた構造の概要、評価項目、使用上の注意点など、LED照明の基礎について解説する。

14:35～14:50　休憩

14:50～15:50　「LEDの通信への応用 －可視光通信技術－」
名城大学理工学部　情報工学科　　旭　健作　　准教授

発光ダイオード(LED)は、低消費電力・長寿命なだけではなく、半導体素子であるため高速応答が可能であり、実応用の1つとして可視光通信への活用が検討されています。
LEDを光源とした可視光通信について、実例や研究中の事例などを紹介し、併せてデモを通して可視光通信を体験して頂く予定です。

申込方法　　裏面の「参加申込書」から申し込みください。

◆ 申込方法 ： 下記申込書にご記入の上、12月20日（火）までにFAX又はメール（sangaku@ccmails.meijo-u.ac.jp）にてお申込み下さい。

◆ お問い合わせ先 ： 名城大学 学術研究支援センター 担当： 古林/河合/松吉
TEL （052）838－2036

ものづくり支援研究会 第1回「LEDの今と明日のLED」 参加申込書

FAX （052）833－7200
（名城大学 学術研究支援センター 産官学連携グループ行 担当： 古林/河合/松吉）

ふりがな	
会社名	
所在地	
ふりがな	
所属・氏名	
連絡先	TEL FAX
	メールアドレス

※ ご記入いただいた個人情報は、当研究会からの各種連絡・情報提供のために利用させていただきます。

※ 受講票は発行いたしません。直接会場にお越し下さい。

ものづくり支援研究会

第2回 「LEDの未来！」(仮題) **平成29年1月23日（月）開催予定**

場所 名古屋工業大学 4号館 1階ホール
内容 ・CES2017（世界最大の国際家電見本市）の視察報告
・LED照明の特許分析
・住宅におけるLED照明の応用（調整中）

[関連セミナー]

窒化物等次世代半導体実用化情報提供セミナー
http://tic.web.nitech.ac.jp/

平成28年12月13日（火）開催

場所 名古屋工業大学 4号館 1階ホール
テーマ「地域のオンリーワン技術を集結し、ものづくり企業が次世代半導体社会を創る！」